

29期グループ学習 合唱

コース・専攻：音楽文化専攻

グループ名：アンダンテ 29

メンバー：音文 29 期生全員 33 名

1 趣 旨

音文 3 年間の集大成となる合唱曲の卒業演奏に向けて、2024 年 5 月末～翌年 2 月末まで約 9 か月間にわたって取り組みました。演奏曲目は、「Furusato」「For the beauty of the earth」「ケヤキ」の 3 曲。この 3 曲は、斉田先生から授業で指導を受け、歌い方、発声、英語や日本語の発音などに加え、基礎的な譜読み、歌詞付け等を自主練習し、卒業演奏会で披露しました。

2 演奏曲

- (1) 「Furusato」(作曲：ハビエル・ブストー (Javier Busto) / スペイン) 日本の唱歌「故郷」の編曲。独特の感性で編曲された混声四部の無伴奏曲です。2012 年 3 月、兵庫県合唱連盟主催の「PRAY FROM KOBO 3・11 復興支援コンサート」で初演されました。
- (2) 「For the beauty of the earth」(作曲：ジョン・ラター (John Rutter) / イギリス) 流れるようなメロディーと美しい歌詩が特徴の聖歌で、教会だけでなく様々な場面でも歌われます。
- (3) 「ケヤキ」(作詩：まど・みちお 作曲：なかにしあかね) 地平線に高々と屹立するケヤキをテーマにした雄大な曲で、東日本大震災にも思いを馳せています。
- (4) 折しも、2025 年は阪神・淡路大震災から 30 年。「祈り」を込めたスペイン、イギリス、日本の国際色豊かな 3 曲を披露することとなりました。

3 練習及び卒業演奏

- (1) 3 曲それぞれの担当者とパートリーダーを決め、音取りや歌唱指導を行いました。また、パート別のボーカル音源を作成し LINE で全員に配布、自宅でも練習できるようにしました。練習記録、写真、要所ごとの動画を LINE で共有し、修正箇所を確認するなど、次の授業に向けてより良い合唱を目指しました。授業は 9 か月間に 9 回あり、この間 1 コマ 90 分換算で 74 コマの自主練習を行いました。
- (2) 練習で美しいハーモニーが響いたときなどは、ゾクッとするような感動を覚えることもありましたが、音が取れなかったり、ピッチが下がったり、リズムに乗れなかったりと、合唱の難しさを実感することも多くありました。そんな中でも一生懸命練習に励み、卒業演奏会では、「アンダンテ 29」らしい素晴らしい演奏となりました。

